



大内中だより

Webページはこちら→



きつきの丘

令和7年3月18日
第48号

市社会福祉協議会で大内中学校を取り上げていただきました

本紙47号でお伝えした大内地区の福祉施設への寄贈品について、「由利本荘市社協だより」99号（R7.3.15発行）の一般寄付欄にて「大内中学校様 電気ポット」としてご紹介いただきました。生徒や保護者、地域の皆様の善意が形になり、由利本荘市全域に紹介されることは大変光栄なことです。なお、寄贈日時の関係で、「電気ポット」だけが紹介されていますが、マグカップや長座布団も別の形で紹介される機会もあらうと思います。これからも地域に貢献する学校を目指します。

また、同号に本校へ依頼がありました代表生徒の作文も掲載されました。生徒達の活動や考えをお知らせできるよい機会ですので、本紙面でも紹介します。

令和7年3月15日

由利本荘市社協だより

8



あいさつの輪が作る「人との和」



大内中学校2年

大内中学校の学校目標は「人間性豊かにたくましく生き抜く生徒の育成」あいさつ日本一への挑戦を通して行動力を育むです。
私は「あいさつの活発な学校を創る」ということを公約の一つに掲げて生徒会書記に立候補しました。現在私が書記として全校のみんなと共に頑張っている「あいさつ日本一」への取り組みを紹介します。
一つ目は朝のあいさつ運動です。火曜日・木曜日・金曜日は生活委員会、月曜日・水曜日は生徒会役員で行っています。以前は並んで「おはようございます」とあいさつをするだけでしたが、昨年より生活委員会のアイデアで胸元で手を振って楽しくあいさつ運動をするようになりました。
最近では手を振ってあいさつをしていると、手を振り返しながらあいさつをしてくれる人が増えて、とてもうれしいです。それに加えて、笑顔であいさつをしてくれる人や明るい声であいさつをしてくれる人が増えて、とても良い環境だと思いました。
二つ目はG.A (GREETING ACTIVITY)です。これは生徒会役員と生活委員会だけでなく、すべての委員会で曜日を決め、あいさつ運動をすることです。

全校生徒が委員会に分かれて一週間で行うため、かなりの人数ですが、あいさつの声のボリュームも大きくなり、学年の垣根を越えて活動することができました。
この活動により、普段、話をしない他学年の生徒ともあいさつを通して関わることができました。さらに、人数であることにより、一人だと恥ずかしくあいさつができない人や小さくなってしまいう人でも、近くに友だちや同じ学年の人がいるだけで、少しあいさつがしやすくなるのではないかと思っています。
三つ目は小中合同あいさつ運動です。これは生徒会役員と生活委員会、岩谷小学校と大内小学校に分かれて、各小学校の児童会や学校運営協議会のみなさんとあいさつ運動をすることです。学年が違い、あまり知らない生徒や先生方とあいさつ運動をするのは少し緊張しますが、地域の方々と良い交流ができました。この活動では、小学生がとても明るく元気なあいさつをしていて良いと思いました。小学生のあいさつの声の元気の良さは、私たち中学生も見習わなければならないなと思いました。

あいさつ運動を通じて友だちとの和、クラスの和、学年の和、学年を超えた生徒同士の和、先生達との和、そして地域の人たちとの和を広げていきたいと思います。

新年度に向けて 対面給食を再開しました！

すでに1年生の学年通信等で紹介していますが、これまで一方向を向いて食べる日々が続いていた給食について、4月より対面式（斜向かい）に変更します。

現在は、机や椅子の配置を見直しながら、1、2年生に先行実施しております。来年度の生徒数減少を逆手にとり、4月からはランチルームでの全校一斉の給食となります。給食時間がこれまでより楽しい時間となっており、生徒同士の会話も弾んでいます。おしゃべりに夢中で、食べる時間が足りなくなる生徒も見られるほどです。

